

2011年の男たち。

第6回 GQ Men of the Year 受賞者発表！

GQ Men of the Year 2011 発表ページ：<http://gqjapan.jp/?p=9616>

知性・品性・感性を備え、本質にこだわる男性のための、クオリティ・ライフスタイルマガジン『GQ JAPAN』（コンデナスト・ジャパン発行）は、「GQ Men of the Year 2011」の受賞者をこのほど次のとおり決定し、12月22日（木）発売の『GQ JAPAN 2月号』にて発表いたします。

■GQ Men of the Year 2011 受賞者（※50音順）

大野 智さん	嵐・リーダー	BOYS TO MEN	君こそ「怪物くん」で賞
坂本 龍一さん	音楽家	ACTIVIST	例外的「活動家」で賞
佐々木 則夫さん	サッカー日本女子代表監督	BEST COACH	世界一のリーダーで賞
田中 良和さん	グリー株式会社 代表取締役社長	HOBBYIST	GREE で検索しま賞
ダルビッシュ 有さん	プロ野球選手	HERO	ヒーローは君で賞



GQ JAPAN 2012年2月号(12/22 発売)
Photo: Jan Buus @ Donna
(C) 2012 Condé Nast Japan. All rights reserved.

2011年も師走を迎え、今年もついに「GQ Men of the Year」が決定しました。東日本大震災という未曾有の大災害が起こった本年は、日本が力強くあるために、“パワーを与えた男”“パワフルに活動した男”たち5名を選出しました。常に前向きに、挑戦し続ける情熱の源にあるものは？ 各人へのインタビューを、タキシードに身を包んだポートレートとともに掲載しています。

GQ JAPAN ウェブサイトとiPhone / iPad向けアプリ内では、坂本龍一さん、田中良和さんの撮影メイキングと受賞インタビュー動画を配信します。

（ウェブサイト：12/22より配信 <http://gqjapan.jp/?p=9616>

アプリ：1月初旬より配信予定 <http://itunes.apple.com/jp/app/gq-japan/id383104301?mt=8>）

■GQ Men of the Yearとは

その年に最も輝いた男性に贈られる賞で、アメリカをはじめ、イギリス、ドイツ、インド、中国、韓国など世界13カ国で展開するインターナショナルな賞です。日本では2006年にスタートし、今年で6回目を迎えます。常識や既存の価値観にとらわれることなく、独自の信念を貫く強さと、行動力を持ち合わせた者だけが得ることのできる賞、それが「GQ Men of the Year」です。

■受賞者紹介（※50音順・敬称略）

GQ Men of the Year 2011 発表ページ: <http://gqjapan.jp/?p=9616>

大野 智（嵐・リーダー） / **BOYS TO MEN** 君こそ「怪物くん」で賞

人気グループ・嵐のリーダーにして、画家やフィギュア制作などアーティストとしても注目を集めるジャニーズきつての天才肌。今年は、主演ドラマ「怪物くん」の劇場版が公開され、現在も大ヒット上映中。嵐としても、日本ゴールドディスク大賞の「ザ・アルバム・オブ・ザ・イヤー」「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」をW受賞した。

プロフィール:

1980年生まれ。東京都出身。1999年に嵐としてデビュー。ストリート、アクロバットなどダンスの幅が広く多彩なため、嵐のコンサートでは、曲の振り付けも手がけることもある。アーティストとしても創作活動を続け、2008年に個展『FREESTYLE』を開催。好きな画家は米画家のノーマン・ロックウェルや伊藤若冲。

坂本 龍一（音楽家） / **ACTIVIST** 例外的「活動家」で賞

東日本大震災後、自身が代表を務める一般社団法人 more trees では、LIFE311 と題し被災地周辺の地域産材を活用した木造仮設住宅を被災地に暮らす人たちとともに製作。またアーティストたちの作品を復興のための寄付と引き換えに贈呈する kizunaworld.org もメディアクリエイター平野友康氏と共に立ち上げた。



プロフィール:

1978年『千のナイフ』でデビュー、同年YMOに参加。のち、数々の映画音楽を手がけ、作曲家としてアカデミー賞を受賞。世界的評価を得て革新的なサウンドを追求。1999年のオペラ「LIFE」以降、環境・平和・社会問題に言及し、2007年7月、「more trees」の設立を発表し、温暖化防止の啓蒙や植樹活動を表明。NY在住。

佐々木 則夫（サッカー日本女子代表監督） / **BEST COACH** 世界一のリーダーで賞

一対一の大きな個人勝負が主流だった女子サッカーの世界に組織戦術の概念を持ち込んでワールドカップを劇的に勝ち上がり、日本代表チームを優勝の快挙へと導いた知将。高度に洗練された日本の戦いぶりは、アメリカ代表監督から「女子サッカーの未来」と賞賛された。



プロフィール:

1958年生まれ、山形県出身。現役時代のポジションはMF、DF。帝京高校3年次には主将としてインターハイ優勝。明治大学を経て、日本電信電話公社に入社。電電関東/NTT関東サッカー一部でプレイ。1981年、全国社会人大会で優勝。33歳で現役引退後は指導者の道を歩む。2007年12月に日本女子代表監督に就任。

田中 良和（GREE株式会社 代表取締役社長）／ HOBBYIST GREEで検索しま賞

日本の登録数 2770 万人、全世界では 1.5 億人のユーザーを有するグリー。SNS「GREE」において、注目のモバイルソーシャルゲームを提供し、個人がそれぞれ楽しむものであったコンシューマーゲームの世界を、人と人との交流があるコミュニケーションの場へと進化させた。



プロフィール:

1999 年、日本大学法学部を卒業後、ソニーコミュニケーションネットワーク(現ソネットエンタテインメント)を経て、2000 年2月、楽天株式会社入社。2004 年2月に個人の趣味として GREE を開発。同年 10 月、楽天株式会社を退社。同年 12 月、グリー株式会社を設立し、代表取締役に就任。

ダルビッシュ 有（北海道日本ハムファイターズ投手）／ HERO ヒーローは君で賞

今シーズンの成績は、18 勝 6 敗、防御率 1.44。5 年連続の防御率 1 点台という、日本球界に名を残してきたどんな名投手も成しえなかった大記録を 25 歳にして樹立した。そして遂にポスティングシステム利用を選択。その去就に全世界の注目が集まる。日本が誇るスーパーヒーローの、さらなる活躍から目が離せない。



プロフィール:

1986 年生まれ。大阪府出身。196 cm、98 kg。
2011 年4月、史上 129 人目となる通算 1000 奪三振を達成。同年、232 イニングを投げ、自己最高の防御率 1.44、自己最多の 18 勝、1993 年に野茂英雄が記録して以来のシーズン 250 奪三振以上、2リーグ制下では日本プロ野球史上初の 5 年連続防御率 1 点台を記録する。

■GQ Men of the Year 歴代受賞者（※肩書きは受賞当時）

2010 年

秋元 康（作詞家）
香川 照之（俳優）
孫 正義（事業家）
西沢 立衛（建築家）
野口 聡一（JAXA 宇宙飛行士）
白鵬 翔（大相撲力士 第 69 代横綱）
本田 圭佑（プロサッカー選手）
向井 理（俳優）

2009 年

岩隈 久志（プロ野球選手）
櫻井 翔（歌手／俳優／ニュースキャスター）
笑福亭 鶴瓶（落語家）
原田 泳幸（日本マクドナルド 代表取締役会長兼社長兼 CEO）
三谷 幸喜（脚本家／演出家）

2008年

朝原 宣治（北京オリンピック銅メダリスト）
北野 武（映画監督）
世界のナベアツ（お笑い芸人）
NIGO®（ファッションプロデューサー）
松本 潤（俳優／歌手）
村上 隆（アーティスト）

2007年

原 辰徳（読売ジャイアンツ監督）
東国原 英夫（宮崎県知事）
平松 宏之（ひらまつ代表取締役社長）
茂木 健一郎（脳科学者）
柳井 正（ファーストリテイリング代表取締役会長兼社長）
ルー大柴（タレント）

2006年

安倍 晋三（内閣総理大臣）
宇野 康秀（USEN 代表取締役社長）
徳岡 邦夫（京都寄吉兆嵐山本店総料理長）
古田 敦也（東京ヤクルトスワローズ監督兼選手）
リリー・フランキー（イラストレーター／小説家）

■海外の受賞者一部紹介

<US GQ Men of the Year>

バラク・オバマ(2004、2008、2009年) ビル・クリントン(2007年) アル・ゴア(2006年)
トム・フォード(2009年) クリント・イーストウッド(2009年) ショーン・ペン(2008年)
トム・クルーズ(2004年) キーファー・サザーランド(2002年)
レオナルド・ディカプリオ(2006、2008年) カニエ・ウエスト(2007年) 同年 UK でも受賞
ジェイ・Z(2006年) ウサイン・ボルト(2009年) アレックス・ロドリゲス(2008年)
マーク・ザッカーバーグ(2008年)

<UK GQ Men of the Year>

ジョルジオ・アルマーニ(2010年) ポール・スミス(2002年)
アレキサンダー・マックイーン(2004、2007年)
ポール・マッカートニー(2006年) U2(2001年) フランツ・フェルディナンド(2004年)
ジャスティン・ティンバーレイク(2006年) オーランド・ブルーム(2003、2007年)
ダニエル・クレイグ(2005年) 同年 US でも受賞
ミッキー・ローク(2009年) ピアース・ブロスナン(2005年) ジョン・ハム(2008、2010年)
ルイス・ハミルトン(2007年) ジェンソン・バトン(2009年)

■『GQ JAPAN 2月号』そのほかの特集は、以下のとおり。

2012年、世界の鍵を握るのは誰か？ ジャーナリスト・手嶋龍一×作家・佐藤優スペシャル対談。

動乱の2012年、最も鍵を握る人物は野田首相！？ 激動の世界情勢の中で、果たして日本はどう動くべきなのか？

「TPP」「東アジア共同体」など、重要キーワードの解説付きです。

日本プロ野球の収益を3倍にする方法。

球団の成長請負人として注目される経営コンサルタント、並木裕太さんが、混迷を続ける日本球界に改革を迫ります。

リメンバー・ライジングサン！ 知られざる日本の最新技術を紹介。

完成間近の世界 No.1 スーパーコンピューター「京」や、食糧・環境・エネルギーの問題を一挙に解決する可能性を秘めたミドリムシの培養まで、今知っておきたい日本の最先端技術が登場します。 ほか

【GQ JAPAN】

1957年に米国で創刊し、現在18カ国で発行される、クオリティ・ライフスタイル誌『GQ』の日本版。知性・品性・感性を備え、本質にこだわる男性のための月刊誌として、2003年に創刊。時代に影響を与えた各界の男性たちを毎年年末に表彰する「GQ Men of the Year」も好評。今年創刊8周年を迎えた。

編集長代理：竹内 大(たけうちだい) / 定価：580円(税込) / 発行：コンデナスト・ジャパン

インターネットへの掲載の場合、次のURLを掲載の上、リンクしてください。 <http://gqjapan.jp/?p=9616>

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

GQ Men of the Year 2011 PR事務局(電通パブリック リレーションズ内)

担当：新聞・雑誌 荒川統子・正司 彩 TEL: 03-5565-8247 メール: n-arakawa@dentsu-pr.co.jp

テレビ 神崎美穂子 TEL: 03-5565-6046 メール: kanzaki@dentsu-pr.co.jp